

一 般 質 問 通 告 書

令和 年 月 日

阿見町議会議長 久保谷 充 様

阿見町議会議員 海野 隆 印

令和3年第3回阿見町議会定例会において、次の事項について質問したいので通知します。

質問事項	質 問 の 要 旨	答弁者
1、元横綱稀勢の里の荒磯部屋開設に対応した支援について	<p>元横綱稀勢の里の荒磯部屋が、来年5月にJRひたち野うしく駅近くの阿見町内に開設されます。国技である大相撲は全国にファンがあり、荒磯部屋の立地は阿見町が全国に知られる絶好の機会を得ることになります。荒磯部屋の成功を支援することが、阿見町の活性化につながると思われます。</p> <p>大相撲は長い歴史と伝統のあるスポーツで、阿見町に大相撲部屋が立地することは、阿見町にとって千載一遇のチャンスとなるものです。荒磯部屋が成功することは、東京一極集中から地方への移転を進めることにもなり、阿見町の人口増加や交流人口の大幅な増加も期待できると思います。</p> <p>そこで以下の質問をします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 現段階で取りまとめている荒磯部屋に対する支援策について 2 荒磯部屋との協力関係を取り結ぶための協議や相談は行われていますか 3 役場組織や観光協会などに荒磯部屋担当係を配置するべきだと思いますがいかがですか 4 荒磯部屋と連携し建設資金等支援のためにクラウドファンディングやふるさと納税制度を活用する考えはありますか 5 荒磯親方と縁の深い牛久市や龍ヶ崎市との連携、県南地域の市町村、茨城県との連携などについてどのように進める考えですか 6 荒磯部屋立地を活かした広域観光プランなど観光・旅行者等との連携を進めるべきではないですか <p>以下余白</p>	町長

<p>2、高齢者へのICTリテラシー向上への支援強化について</p>	<p>最近の情報化社会の進展は目覚ましく、年代による情報格差が顕著になっています。阿見町でも、町民に知らせる必要のある情報はホームページを通じて資料の提供を行うことが多く、様々な申請についてもインターネットを通じて行うことが前提とされています。</p> <p>阿見町役場職員は、ホームページに掲載すれば町民への広報が行われたというような前提で物事を進めることが散見されます。自宅にインターネット環境のない方々、スマートフォン等を所有しない方々に対する情報伝達については置き去りにされているようだという声も聞こえ、情報格差が進んでいる懸念されています。</p> <p>今回の新型コロナウイルスワクチン接種予約でも、インターネットを活用して申し込まれた方はスムーズに申し込みが出来、電話を通じて申し込みされた方々はいくら待っても繋がらないという苦情がたくさん寄せられました。特に当初、65才以上の方々を対象にした申し込みでは、電話も繋がらない、インターネットでの申し込みもシステムが理解できないなどと混乱が大きかったと聞いています。</p> <p>子供たちには、小中学校児童生徒に一人一台のタブレットを配布するGIGAスクール計画が進行しています。今後、地域での情報化社会への課題は、高齢者がICT（Information、Communication、Technology）を過不足なく使いこなせるように支援することではないかと思えます。</p> <p>そこで以下の質問をします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 現在の阿見町の行政情報発信や印鑑証明や住民票申請等のICT利活用状況 2 阿見町におけるパソコンやスマートフォンなどの高齢者所有率と所有を引き上げるための方策について 3 現行の高齢者に対するICTリテラシー向上への支援と実績及び課題について 4 高齢者の機器購入等への補助金について 5 パソコンやスマートフォン等ICTリテラシー向上及び使いこなしのための常設の相談所の開設について 6 ICT等の悪用による振り込め詐欺など、阿見町の高齢者の犯罪防止について <p>以下余白</p>	<p>町長</p>
------------------------------------	--	-----------

<p>3、廃校となった旧小学校跡地の利活用について</p>	<p>旧実穀小学校跡地の利活用については、現在、実穀交流センター（仮称）建設の詳細設計が進行中で、議会の手続きを経て、来年度の建設着工に向けて準備が進んでいます。</p> <p>実穀交流センター建設については、昨年10月25日に50名内外の町民が参加して「実穀小学校跡地利活用に関する説明会」が開催されました。</p> <p>議会に対しては、「学校再編に伴って生じた廃校の利活用については地元を代表する住民の方々からなる『跡地利活用検討委員会』で要望を取りまとめ、その後、取りまとめられた要望を施設に反映する『公民館整備検討委員会』を設けて、あくまでも住民要望に沿った利活用を進めてきた」という説明がなされてきました。</p> <p>しかし、その後、一部地元行政区長を中心とした方々が公民館施設建設反対の意見を表明し、行政区内で建設計画の賛否アンケートまで実施するという展開となっています。</p> <p>あらためて、廃校となった旧実穀小学校跡地の利活用の経緯及び今後の整備方針についてターニングポイントになった時点での政策判断について伺います。</p> <p>1 学校再編計画策定期期 少なくとも再編計画が策定された時点で、4小学校の跡地利活用計画検討が開始されていたと考えるが、どのような検討がなされたのか。跡地利活用検討は、どの部署が担当していたのか、また、その後担当部署はどのように変遷してきたのか。</p> <p>2 吉原小学校及び実穀小学校の統合決定期期 具体的に統合再編・廃校が見えてきた時に、上記検討を踏まえて直ちに動き出す必要があったのではないかと。その時点までの検討状況と跡地利活用計画の検討状況。</p> <p>3 財源的、財政的な問題からの検討 廃校による集会施設の整備は、明らかに当時の「教育振興基本計画」や「生涯学習推進基本計画」「第6次総合計画」「公共施設等総合管理計画」で想定された施設削減の方向性や財政的な計画とは異なるものだったと思われる。そうした計画を策定しながら、集会施設の整備を進めてきたのはなぜか。新たな2つの公民館建設整備の必要性と整備計画は「部分最適全体不適」状態になっているのではないかと。</p> <p>4 施設整備に、多額の費用がかかると判明した時点 学校施設から、その他の施設への転換には多額の整備費用が必要となると判明したのはどの時点か。判明した時点での再検討はどのように行われたか。その時点で、集会施設への転換を辞める決断はできなかったのか。</p>	<p>町長 教育長</p>
-------------------------------	---	-------------------

5 実穀交流センター整備がコロナ禍の状況にある現時点
 新型コロナワクチン感染症は、変異型の出現により、感染状態が長く続き、医療崩壊の危機にあるとも言われている。こうした中で、緊急事態宣言が繰り返し発出されるなど阿見町民の行動制限が続き、公民館を利活用する会議や講習、イベントが軒並み中止となり、公民館利用状況は大きく落ち込んでいる。ワクチン接種により、短期間で収束するという楽観的な見通しは少なく、会議や講義、イベント等もリモート開催等の「新しい日常」により行われることが、続くのではないかと思われる。これまで想定できなかった新たな非常事態に、これまでの議論のまま「新たな集会施設の整備」をすることは再検討されても良いのではないかと思われるがどうか。

以下は、今後の公民館の管理運営について

6 公民館（仮称実穀交流センター）の新たな利活用など今後の公民館利用促進について

7 指定管理制度や地元行政区への業務委託による自主管理など、公民館（仮称実穀交流センター）管理運営の見直しについて

8 旧吉原小及び旧実穀小の未利用施設の利活用及び利活用に8う改修費用の発生について

9 未利用施設部分の撤去について

以下余白

令和 年 月 日受領・受付番号

※ 質問の趣旨は、できる限り具体的に記入願います。

※ 電話・FAX等により申し込みはできません。